

授業科目 解剖学Ⅰ

【担当教員名】 鈴木 了、山田 まりえ	対象学年	1	対象学科	言語
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：G I O>】

解剖学Ⅰでは、人体の基本的構造を全体的に理解し、特に発声発語器官である口腔・鼻腔・咽頭・喉頭について、及び聴覚器官中耳・内耳についてそれぞれの構造と機能を理解する。さらに言語と聴覚に関する中枢神経系と末梢神経系を理解する。また、の発生の概略を理解し、口腔・顎顔面部の先天異常の発生を考察する。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

1. 解剖学、形態学とは何かを説明できる。
2. 組織を構成する細胞の構成要素の名称と簡単な機能を概説できる。
3. 主な骨、骨格筋の名称、位置を説明できる。
4. 心臓の位置、各部位の名称を言える。大循環・小循環を説明できる。
5. 消化器系の諸器官、その付属器の名称、位置を説明し、その働きを概説できる。
6. 呼吸器系、泌尿生殖器系を後制する器官の名称、位置を説明出来る。
7. 口腔・鼻腔・咽頭・喉頭を構成する各部位の名称と機能を説明できる。
8. 外耳・中耳・内耳の構造と機能を説明できる。
9. 口腔・顎顔面部の発生の概略を理解し、説明できる。
10. 摂食・嚥下について解剖学的に説明できる。
11. 中枢神経系、末梢神経系の構成を概説できる。
12. 聴覚伝導路をコルチ器から大脳皮質まで順にたどることができる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	解剖学序論 解剖学とは 組織学総論 細胞と四大組織	1, 2	講義
2	骨格系 骨の構造と種類 骨の連結	3	〃
3	筋系 筋の構造と種類 主な骨格筋	3	〃
4	循環器系 血管とは 心臓 大循環と小循環	4	〃
5	内臓系1 消化器系 呼吸器系	5	〃
6	内臓系2 泌尿生殖器系 内分泌系	6	〃
7	感覚器と神経系 感覚器と神経系のあらし	11	〃
8	発声発語器官1 口腔、鼻腔、咽頭	7, 10	〃
9	発声発語器官2 喉頭	7	〃
10	平衡聴覚器1 外耳と中耳	8	〃
11	平衡聴覚器2 内耳	8	〃
12	ヒトの発生 頭頸部、顎顔面部の発生	9	〃
13	神経系1 末梢神経系と中枢神経系	11	〃
14	神経系2 知覚の伝導路	12	〃

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	入門人体解剖学	藤田恒夫 南江堂	2000年	5000円
参考書				
その他の資料	プリントの配布			

【評価方法】 出席状況・態度、期末試験の総合評価	【履修上の留意点】 短期間で広範囲の内容を勉強します。欠席をせず、復習をすることが重要です。
-----------------------------	---

言語聴覚学科 専門